

1. 件名：福島第一原子力発電所における循環注水冷却・滞留水等に係る定例会
2. 日時：令和4年9月2日（金）10時30分～11時40分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

新井安全審査官、小西係長、横山係長

高木技術参与（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力規制事務所

黒川原子力運転検査官（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 担当8名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、資料に基づき、主に以下の説明があった。
 - 実施計画Ⅱ 2.50ALPS 処理水希釈放出設備及び関連施設設置の記載の適正化について
 - ✓ 本年7月22日に実施計画の変更の認可を受けた「ALPS 処理水希釈放出設備及び関連施設の設置」について、その後、使用前事業者検査要領書の作成等を進めている中で、系統構成、機器の支持構造、使用材料等の詳細を明確にする必要があること、また、基本仕様の附番、図番号等についても誤記が見つかったことから、現行の実施計画Ⅱ章2.50の記載を適正化したい。
 - ✓ 上記については、別途申請中の実施計画の変更認可申請の補正に合わせて記載の適正化を考えている。
 - 工程表（循環注水冷却、使用済燃料プール対策、燃料デブリ取り出し準備）について
- 原子力規制庁は、上記説明について確認するとともに、以下のとおりコメントした。
 - 実施計画の記載の適正化の件について
 - ✓ 別途申請中の他案件の補正に合わせて、実施計画の記載を適正化したい箇所があるとしているが、当該箇所が適正化の範囲に留まるとする理由を整理すること。
 - ✓ 上記の整理結果を受けて、その後の取扱いについては当庁から東京電力に対して改めて伝えること。
- 東京電力から、上記コメントについて了解した旨回答があった。

6. その他

資料：

- 実施計画Ⅱ 2.50ALPS 処理水希釈放出設備及び関連施設設置の記載の適正化について
- 汚染水対策スケジュール（2022年8月25日現在）
- 水処理設備の運転状況、運転計画（2022年8月19日～2022年9月15日）

- 福島第一原子力発電所の滞留水の水位について（2022年8月19日～2022年9月1日）
- 各エリア別タンク一覧
- タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）（2022年6月30日現在）
- 汚染水等構内溜まり水の状況（2022.8.18時点）
- 建屋内における残水等の状況について
- 福島第一原子力発電所における固体廃棄物について

以上